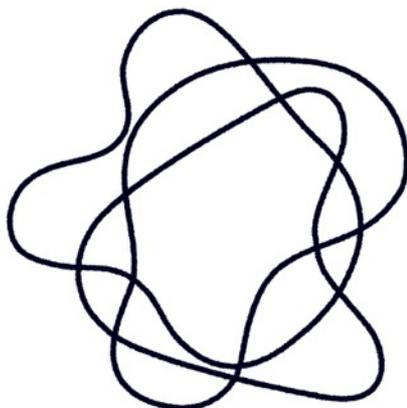


過去最高 2481 件の応募から 11 件の受賞プレスリリースが決定。 プレスリリースアワード 2024 受賞企業と Best101 を発表

ヤッホーブルーイング、ヘラルボニー、LIFULL、協和、ピジョン、七越製菓、オレンジ、岐阜県飛騨市、稲垣塗装所、岡崎竜城スイミングクラブ、永谷園ホールディングスが受賞



Press Release Awards 2024

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は、「プレスリリースの日」である 2024 年 10 月 28 日(月)、プレスリリースの可能性拡大に貢献した企業と担当者を讃える「プレスリリースアワード 2024」の受賞プレスリリースを発表いたします。

2023 年 8 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日に国内で発信されたプレスリリース 2481 件がエントリーし、プレスリリースアワード 2024 審査会により 11 件のプレスリリースが 10 部門の賞に決定いたしました。

特設サイト：<https://prtimes.jp/pressreleaseawards/2024/>

※2024 年 10 月 28 日(金) 14:00 より授賞式&発表会を LIVE 配信（PR TIMES LIVE）

<https://www.youtube.com/live/uJc94xNknV0>

10 月 28 日はプレスリリースの日 | プレスリリースについて考え、可能性を広げる日に

世界で初めてプレスリリースが発信されたとされる 1906 年 10 月 28 日、この日をプレスリリースについて考える 1 日にしようと、2021 年に PR TIMES が「プレスリリースの日」を制定しました。毎年、10 月 28 日前後（今年は 10 月 26 日）にプレスリリースアワード授賞式とプレスリリースエバンジェリスト発表会を実施しています。

※「プレスリリースエバンジェリスト」発表プレスリリースはこちら。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001470.000000112.html>

プレスリリースアワード 2023 受賞プレスリリース

今回のプレスリリースアワードでは、**過去最多応募数の 2481 件**のエントリーから **11 社 11 件**のプレスリリースが受賞、**77 社 79 件**のプレスリリースが最終審査に進出し「Best101」に選出されました。まずは受賞したプレスリリースと、プレスリリースの発表に携わった担当者を紹介いたします。審査員から寄せられた受賞理由と併せてご覧ください。

<インフルエンサー賞>

発信と活用により社内外へ最も広く好意的な影響をもたらしたプレスリリースに贈る賞

【飲み過ぎの原因は飲むペース】適正飲酒を実現する“飲みづらい”グラス「ゆっくりピアグラス」開発

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000054.000018582.html>

株式会社ヤッホーブルーイング 河津愛美・北野響子・野島沙英・水落衛・柳下桂一郎・山口明香・渡會ちはる・渡部翔一／株式会社 LQVE 富永省吾・綿野賢・田村聡大

【受賞理由】適正飲酒の啓発のために“飲みづらい”グラスを開発した、という取り組み自体も素晴らしいが、根拠となる意識調査のデータや、グラスの開発プロセス・こだわり、有識者のコメントによる期待効果など必要な情報が十分盛り込まれている。加えて、クラフトビール事業者である自社があえてこの取り組みを推進する理由や、これまで一貫して適正飲酒の啓発に取り組んできた活動実績等もしっかり盛り込まれており、単なる表面的な話題作りのための打ち上げ花火施策ではない、企業としての本気度を感じた。（審査員：矢嶋 聡 株式会社はね 代表取締役）



<ソーシャル賞>

社会とのつながりを表現し深めることに最も貢献したプレスリリースに贈る賞

ヘラルボニー、障害のある人のための災害情報を届ける活動「#障害者を消さない」を始動

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000251.000039365.html>

株式会社ヘラルボニー 松田崇弥・松田文登・小野静香・矢野智美・安藤奈穂・石井菜実・井上貴彦・桑山知之・阿部麗実

【受賞理由】1月1日の地震からわずか2日でサイトを立ち上げて開示。同社の社会的な存在意義に忠実な姿勢を感じる。地震後の障がい者の方々を思って、まずは災害情報を届け、そして当事者の声を集める活動。引用されている当事者家族のコメントに胸が苦しくなる。シンプルでタイムリーだからこそ情報が強い意味と力を持ち、ここから始められることがあると信じられるプレスリリース。(審査員：三島 映拓 株式会社 PR TIMES 広報 PR 管掌取締役)

#障害者を消さない

能登半島地震、障害のある人たちは、必ずいます。

ヘラルボニー

<パブリック賞>

情報の平等と信頼を実現することに最も忠実なプレスリリースに贈る賞

新生活シーズンを前に LIFULL HOME'S が「おとり物件」に対する不動産会社の対応実態調査&消費者への認識調査を発表

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000448.000033058.html>

株式会社 LIFULL 田中賢也・小田裕美

【受賞理由】このプレスリリースは、不動産業界の課題ともいえる「おとり物件」を取り上げ、生活者と不動産会社の両者における認識を、調査したことに特徴があります。調査結果が分かりやすくまとめられ、情報伝達における視覚的表現も工夫されています。文末には責任者のコメントもついており、調査の趣旨や、目指すゴールなどが述べられているのも印象的でした。今回の調査とプレスリリースの公開を通じて、不動産業界全体への呼びかけとなり、「おとり物件」の改善に向けて、共通認識が深められることを、期待しています。(審査員：河 晃珍 國學院大学 観光まちづくり学部 准教授)



<エンパシー賞>

受け手の心を動かし共感を育むことで最も飛躍したプレスリリースに贈る賞

小学校へ入学したころの感動が時を越えて届く！「未来へつなぐタイムレター」ふわりいランドセルの協和が続ける親と子の心をつなげるサービス

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000088048.html>

株式会社協和

【受賞理由】子どもの成長を優しく見守るかのようなサービスが狙いとともに紹介され、わかりやすい内容になっています。実際にこのタイムレターが絵本になったこともあり、サービスの枠組みを超えた広がりを見せています。(審査員：関根 和弘 朝日新聞 GLOBE+編集長)



<ヒューマン賞>

プロダクトや社員、顧客に対する愛と情熱が最も感じられるプレスリリースに贈る賞

口唇裂・口蓋裂や疾患などで哺乳が困難な赤ちゃんと家族のための哺乳器 病院と家族の声をもとに、より使いやすい仕様に改良した「ロングフィーダー」新発売

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000155.000048454.html>

ピジョン株式会社 緒方真優

【受賞理由】口唇裂・口蓋裂という、まだまだ一般の認知度は高くない疾患により、哺乳が困難な赤ちゃんとご家族のための商品。患者の画像を使うことが最も興味を喚起できるだろうと短絡的に考えてしまいがちです。そこで一歩立ち止まり、当事者の心情を傷つけないような画像選びに何度も議論を重ねたと伺いました。その姿勢に、きちんと顧客に向き合う愛情を感じます。情報は単なる羅列だと、相手に伝わるものにはなりません。商品の説明も丁寧でわかりやすく、何をどの順番でどういうふうに伝えるか。あまり目立たない部分かもしれませんが、そういった丁寧な編集も素晴らしかったです。(審査員：桜川 和樹 グローバル・ブレイン株式会社 Partner / Editor in Chief)



グローバル・ブレイン株式会社 Partner /

<ストーリー賞>

人に語りたくなるストーリーを最も有しているプレスリリースに贈る賞

【七越製菓】創業 40 周年と手揚げもち 25 周年を記念して、「復刻版手揚げもちしょうゆ味」を期間限定発売。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000137121.html>

株式会社七越製菓 片岡美和

【受賞理由】冒頭の動画から始まり、創業当時を物語るモノクロ写真、このようなリリースは見たことがなく、ただただ圧倒されました。一つの創業物語を読んでいるようで、歴史と作り手の想い、こだわりなどがしっかりと伝わってきて、食べてみたいなどと思わせる説得力があります。日々たくさんのリリースが配信される中で普通だったら目に留まりにくいであろう「手揚げもち」という商品をいかに魅力的に伝えていくか？自社の商品への理解、それを知ってもらうための見せ方を考え抜いたことが伝わって来るリリースでした。（審査員：石崎寛明 小学館 DIME 編集長）



<イノベティブ賞>

既成概念に縛られず表現や用途を最も拡大したプレスリリースに贈る賞

オレンジ、総額 29.2 億円のプレスリリース A 資金調達を実施

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000125868.html>

株式会社オレンジ 長谷川寛・黒田励・加勢犬・伊藤七海・やじま（マンガ家）

【受賞理由】漫画関連の事業について発表するリリースを、漫画を用いて表現しているのがユニークであり、リリースで指摘されている課題がわかりやすかったです。漫画が縦長で描かれており、多くがスマホで読まれるだろうという配慮もよかったですと思います。（審査員：関根和弘 朝日新聞 GLOBE+編集長）



<ローカル賞>

発信と活用により地元の魅力を内外へ広げることにも最も貢献したプレスリリースに贈る賞

【岐阜県飛騨市】「なんとなく不調」から人間関係・家庭・性の悩みなど 11~18 歳の思春期の「もやもや」に寄り添います

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000057.000120394.html>

岐阜県飛騨市 土田治昭

【受賞理由】11~18 歳の思春期の「もやもや」に寄り添うために「ヒダ×10 代ケンシン」を伝えるリリース。見出しも目を引くもので、内容も担当の想いがギュッと詰め込まれており、さらにグラフを活用し、事業内容がスッと頭に入りやすくなる、共感できるような内容となっており、動画も埋め込み、そこで丁寧に解説しているので、中身の濃いリリースだと感じました。飛騨市はこのリリース以外でも、自治体としては PR TIMES でもリリース頻度が多く、かつ一つ一つ手を抜かずに「伝わる」ことを意識して配信していると思います。地域のことを多くの人に知ってほしい！飛騨市のことをもっと広げたい！そんな想いが伝わるリリース。やはり自治体の PR の本質は「人」なんだと改めて感じる素敵なリリースでした。（審査員：佐久間 智之 PRDESIGN JAPAN 株式会社）



<グレートステップ賞>

覚悟をもって発信に挑戦し、最も飛躍したプレスリリースに贈る賞

思い出の詰まった仏壇を手のひらサイズにリノベーション 仏壇供養サービス「結壇 (Yuidan)」を 2024 年 2 月に開始

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000135014.html>

有限会社稲垣塗装所 稲垣豊・稲垣亘佑

【受賞理由】センシティブな話題だけに相談もしにくく、あまり顕在化していませんが、時代の変化や住まいの変化の中で仏壇の扱いに困っている人は多いと思います。今回のリリースでは仏壇メーカー自らがあえて仏壇を手放すという自社のビジネスを揺るがしかねない提案を行っているようでいて、きちんとしたデータの裏付けをもとに時代や住まいの変化など消費者のニーズに寄り添った新しい仏壇を提案しているリリースとしての完成度の高さに驚かされました。仏壇に手を合わせる文化を守っていきたいという想いもしっかりと伝わって来るリリースだったと思います。（審査員：石崎寛明 小学館 DIME 編集長）



<特別賞>

上記賞（各部門賞）にあてはまらないが表彰したいプレスリリースや発表者の行動を讃える賞

「泳げない国」インドの水泳コーチを対象に岡崎市の老舗スイミングスクールが水難訓練を実施

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000128281.html>

株式会社岡崎竜城スイミングクラブ

【受賞理由】インド＝泳げない国という意外性をフックにして目を引きながら、スイミングスクールによる水難訓練という真摯な取り組みと、その背景と意義をデータを用いながら余すところなく伝えている。水害にみまわれることが多い日本で蓄積されたノウハウを海外へ伝えていく覚悟と信念を感じさせるリリース。
（審査員：勝俣 哲生 日経クロストrend編集長）



永谷園がお客様に代わって試してみました！その数 60 種類以上！「冷やし茶漬けにピッタリな冷たい飲み物」セクション

<https://www.nagatanien.co.jp/a.php?id=1901>

株式会社永谷園ホールディングス 石井・淡路

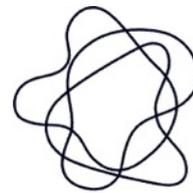
【受賞理由】恐らく誰が読んでもクスッと笑ってしまう、楽しいリリースでした。60 種類の飲み物を「実際に試してみた」という企画自体にも驚きがありますが、リリースとしても非常に優れていると思いました。タイトルの付け方、全体の構成、適度な分量、デザイン、写真の配置、カラーや太字を駆使したテキストなど、広報部の熱意とセンスが溢れています。顔写真入りの担当者のコメントで締めるなど、最後まで飽きさせずに読ませる工夫が盛り込まれていて、他の企業にも参考になるリリースだと思いました。余談ですが、読んだ後、我慢ができなくなり、お茶漬け海苔を買いに行き、冷蔵庫にあった豆乳をぶっかけて食べてみました。そして、すっかりハマってしまいました。特別賞、おめでとうございます！（審査員：小林 史憲 テレビ東京 報道局「テレ東 BIZ」編集長）



最終審査に進んだプレスリリースを讃える「Best101」。今年は 79 件が選出

毎年、受賞プレスリリースのみならず、それぞれに創意工夫や、発表に至るまでの物語のあるプレスリリースを数多くエントリーいただいています。できるかぎりその一つひとつを、知ってもらいたい。その思いから、昨年より最終審査に進んだプレスリリース 101 件も発表することにしました。それが「Best101」のはじまりです。

今年のプレスリリースアワード 2024 では、審査方法の見直しのため、最終審査に進んだプレスリリースは 79 件となりましたが、「Best101」として発表します。来年以降は、101 件を発表予定です。審査の過程で注目すべき点が多くあがったこれらのプレスリリースと、その発表に携わった方々の活躍も伝えるため、審査員のコメントとともに発表いたします。



Press
Release
Awards 2024
Best 101

【Best101 受賞企業一覧（敬称略）】

株式会社クラウドネイティブ／株式会社 開晴亭／株式会社サカワ／株式会社 THE COTTAGE／株式会社 聚楽／株式会社 Toride／ともくんみゅーじゅくすたじお／鈴茂器工株式会社／側島製罐株式会社／株式会社七越製菓／株式会社 LUNDATTE／株式会社昭文社ホールディングス／株式会社 BMSG／株式会社岡崎竜城スイミングクラブ／Tesla Japan／東海電子株式会社／株式会社アールナイン／Mysurance 株式会社／小豆島ヘルシーランド株式会社／株式会社小学館／篠田重機株式会社／株式会社パワープレイミュージック／日本ピザハット株式会社／株式会社ベルク／塩尻市／株式会社岡田商会／岐阜県飛騨市／第一三共ヘルスケア株式会社／株式会社 LIFULL／ビジョン株式会社／独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）／株式会社 M&A PMI AGENT／（株）OK エージェンシー／株式会社ユーディフル／有限会社 D-WEBER／株式会社 B-Labo／株式会社協和／スタジオさつきぼん／ポケットフーズ株式会社／株式会社ネコリパブリック／有限会社稲垣塗装所／株式会社ファミワン／株式会社 With Midwife／株式会社オレンジ／株式会社高速オフセット／株式会社 KUTO／株式会社マツモトメソッド／株式会社ドミノ・ピザ ジャパン／Down Up 株式会社／松浦産業株式会社／株式会社鴻池組／中部国際空港株式会社／株式会社いまでや／株式会社マイナビ／株式会社イオンファンタジー／株式会社運動会屋／特定非営利活動法人グッドネーバーズ・ジャパン／日本財団 海と日本プロジェクト広報事務局（一般社団法人環境メディアフォーラム）／株式会社ティーアンドエス／株式会社一の湯／株式会社福井／株式会社 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ／株式会社永谷園ホールディングス／有限会社 羅漢／森永製菓株式会社／株式会社ヘラルボニー／トーヨーコーケン株式会社／株式会社 CAMPFIRE／株式会社小杉湯／株式会社一の坊／GMO インターネットグループ株式会社／キュービー株式会社／株式会社 OpenFashion／認定 NPO 法人カタリバ／株式会社ヤッホーブルーイング／株式会社資生堂／iA PR コンサルティング株式会社
（以上 77 社）

プレスリリースアワード 2024 「Best101」と審査員コメント

https://prtimes.jp/pressreleaseawards/assets/img/2024/PRA24_Best101.pdf

山崎怜奈さんが「推し活」を語るトークセッションも

授賞式内のプログラムでは、**タレントの山崎怜奈さんと株式会社 Oshicoco 代表取締役社長・推し活総合研究所所長の多田夏帆さん**をゲストにお招きするスペシャルトークセッションをお届けします。モデレーターは、プレスリリースアワード審査員でもある PR TIMES 広報管掌役員の三島映拓が務めます。

プレスリリースアワード授賞式とプレスリリースエバンジェリスト発表会は、受賞企業および「Best101」受賞企業、プレスリリースエバンジェリストを招待しており、広報・PR に深く関わる参加者の皆様へ、これまでと異なる視点で広報・PR について考えるトークセッションコンテンツを楽しんでいただければと考えています。

「推し活と広報・PR」をテーマに、山崎さんが考える推し活や、推し活の専門家である多田さんにお話を伺いながら、推し活が社会・消費行動にもたらす影響などについて、ディスカッションいただきます。お二人のトークを通じて、推し活がこれからの広報・PR にどのような影響があるのか、その疑問に迫ります。

スペシャルトークセッションの様子は、LIVE 配信で 15:45 頃よりご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/live/uJc94xNknV0>

※配信時間は前後する可能性があります

【山崎怜奈さんプロフィール】

1997 年 5 月 21 日生まれ、東京都江戸川区出身、慶應義塾大学卒業。2022 年に乃木坂 46 を卒業。TOKYO FM『山崎怜奈の誰かに話しかかったこと。』などでラジオパーソナリティを務める他、歴史好きとしても知られており、クイズ番組や情報番組にも多数出演。



プレスリリースアワード 2023 を振り返り プロジェクト責任者より

プレスリリースアワード 2023 運営責任者 松本 英里香

プレスリリースアワード 2024 へたくさんのご応募をいただきありがとうございました。応募いただいた 1 件 1 件のプレスリリースから発信にける思いやこだわりが力強く感じられ、このような発信から世の中は変わっていくんだ、とプレスリリースが社会をも変える力を持っていることを再認識しました。プレスリリースアワードは、もっと多くのプレスリリースや行動者の頑張りに光を当てられるよう今後も継続していきますので、プレスリリースの発展のために何かお役に立てることがあればお気軽にお声がけいただけましたら幸いです。



【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES (東証プライム 証券コード：3922)

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

- 事業内容
- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>) の運営
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>) の運営
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
 - 動画 PR サービス「PR TIMES TV」(<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
 - アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」(<https://marph.com/>) の運営
 - カスタマーサポートツール「Tayori」(<https://tayori.com/>) の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>) の運営
 - 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」(<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
 - プレスリリース専用エディター「PR Editor」(<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
 - Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES